



鈴木敏夫町長、2期目の決意。

# 未来への「いしずえ」のために

1期目で手掛けてきたことをさらに充実させ、町の未来に向けて土台を固めていく。

## 就任2期目にあたって

このたび、引き続き町長を務めさせていただくこととなりました。その使命と職責の重さにあらためて身の引き締まる思いです。

町の「きずな」を取り戻すために、町長に就任してから4年。「心がふれあう感動のまちづくり」を町政運営の軸として、「安心して住めるまちづくり」「農林業が元気で豊かな経験・自然を生かしたまちづくり」「交流とふれあいのまちづくり」という3本柱のもと、協働・連携により持続的に発展するまちづくりを進めてまいりました。特に、情報通信技術（ICT）関連の施策では、高度情報通信基盤の整備が完了し、都市部の企業の出先事務所となる「サテライトオフィス」の誘致も実現しました。また、若者交流センター「奥流」の整備や「川根留学生」の受け入れで積極的に支援してきた川根高校についても、来年度から生徒の全国募集が始まるなど、こうした取り組みについて、少しずつですがその成果を感じているところではあります。

そして、それらを次の4年間でさらに充実させ土台

を固めていくことは、私の責務であると考えております。あわせて本年度は「第2次総合計画」における初年度であります。総合計画は「将来の川根本町をどのようなまちにしていくのか」を取りまとめた、まちづくりの最も基本となる計画です。この計画に基づいて町をより良くしていくため、中長期的な視点を大切にしながらそれぞれの事業を進めていきたいと考えております。

### 町の「いしずえ」を再構築

これまでの4年間で手掛けてきたことを具体的に実現し、町の共有財産を最大限に活用する施策を実行します。

#### ●情報通信技術を活かしたまちづくり

小中学校におけるICT教育を推進し、教育現場の充実と豊かな人材教育を目指します。また、町内の雇用創出と企業の「働き方改革」という双方にメリットのある試みとして、サテライトオフィスのさらなる町内への誘致に取り組みます。

●地場産業が元気になるまちづくり  
町の主要産業である茶業の活性化に向けて、伊豆地域をはじめ各地と連携しながら、需要拡大を図っていきます。また、桑野山貯木場を拠点として積極的に活用し、林業の再生への取り組みを加速させていきます。さらに、ICTを活用した商工業の新規事業創出や観光客の利便性の向上を図り、地域経済の好転につなげたいと考えています。

#### ●安全安心のまちづくり

来年3月末には、いよいよ青部バイパスの全区間が開通します。引き続き、町内の道路交通網のさらなる充実に向けて、国や県に働きかけていきます。また、ICTを防災や医療の分野に活用し、より災害に強く医療体制の整った「安全安心の町」を目指します。

#### ●魅力あるまちづくり

町内全域が南アルプスユネスコエコパークに登録され、また「日本で最も美しい村」連合への加盟が認められるなど、この町には、外部から大いに評価される豊かな自然や文化があります。町外にその魅力を発信していけるように、まずは町民自身がいかに誇りを持って生活することが

できる取り組みを進めていきます。

#### ●人を活かした活力あるまちづくり

「千年の学校」の理念に基づき、まちを愛する人材を育成する取り組みを推進するとともに、若者や女性など、すべての町民の皆さんが活躍できる場をつくっていきます。また、県内屈指の「お達者度」を誇る健康長寿の町らしく、高齢者でも地域の中で生涯現役として活動できる機会を大切にしていきます。

## PROFILE

鈴木 敏夫(すずき としお)  
生年月日/昭和18年5月23日(74歳)  
居住区/千頭東区  
座右の銘/世のため人のため  
趣味/鮎釣り

◀「第2次総合計画」の概要版を、10月に各世帯へ配布しました。ぜひご覧ください。

